

# ワスレナグモ

*Calommata signata* (Karsch)

## クモ目ジグモ科

石川県カテゴリー

準絶滅危惧

国カテゴリー

準絶滅危惧

### 選定理由

生息密度の低い種であるが草地、芝生、公園など比較的乾燥した地中に縦穴を掘り、その中に住む。このような環境は人為破壊を受けやすいので生息適地が失われやすく、全国的に減少してきている。

### 形態

体長メス15～18mm、オス6～8mmほど。メスは頭胸部や脚は黄褐色。腹部は褐色で頭胸部前に突き出した大きなキバが目立つ。第一脚は細いが第二～四脚、特に第三・四脚は太短い。オスは脚も含めてほぼ全身黒褐色であるが、脚の先端部付近だけが黄褐色。オスはすべての脚が細長い。

### 国内分布

本州、四国、九州だが、本種が未記録の県はまだかなりある。

### 県内分布

県内4箇所で記録があるのみであるが、分布調査が不十分であり、もっと多くの分布地があると思われる。

### 生態

前記のような環境の地中に深さ15～20cm（メス成体）の縦の管状の穴を掘り、その中に住む。穴の裏側は糸の膜で裏打ちされており、穴の入口にはトタテグモのようなふたはないから、このような穴を見つけることがこのクモの存在を知る重要な手段となる。穴の入口から放射状に触糸を地表に引いてあり、近くを通った虫がこの糸に触れると電光石火の速さで飛び出して長い牙をつきさして穴に引きずり込む。

### 生息地の条件

上記のような所で見つかることが多い。比較的狭い区域から多数の住居穴が見つかる例がときどき報告されているから、穴を見つけたときは付近をよく調べてみる必要がある。

### 生存の危機

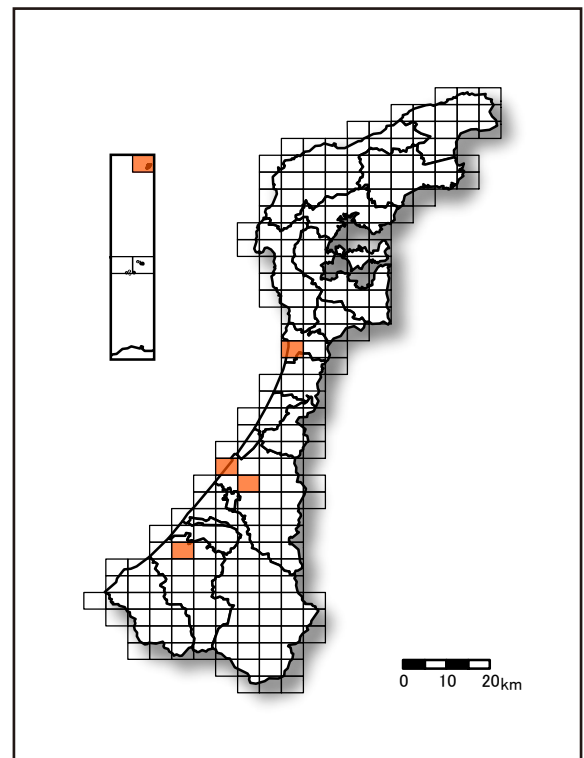
石川県では分布密度が低いようであるが、前記のような環境に棲むだけに生息地が消失しやすい。  
(A)

### 参考文献

千国安之輔 2008. 改訂写真日本クモ類大図鑑. 偕成社. 東京.  
徳本 洋 1990. 石川県の真正クモ類. 石川の生物. 200-207. 石川県高校教育研究会. 金沢.



写真提供者: 谷川明男



県内の分布